



# 三条南ロータリークラブ週報

2019-2020 クラブテーマ

Sanjo Minami Rotary Club

地元を知り 地元への奉仕で ロータリー活動を示そう



2019. 12. 9

No.2335 No. 18

## 会長挨拶

三条南ロータリークラブ  
会長

### 荒澤 威彦

本日のお客様は NPO 法人えんがわ代表理事の 長野源世様です。「ステージえんがわ」という、地域の新しいタイプの憩いの場の運営にご活躍されています。後ほどお話を お願いします。そして、三条 RC 若槻会長、五十嵐社会 奉仕委員長、ようこそお出で下しました。

さて、私の方からは、昔ながらの一軒の憩いの場を紹介 します。

燕市にある「純喫茶ロンドン」。燕駅前を宮町商店街に 向かう突き当りにあります。昭和の香りが漂う外観とい かにもという雰囲気の内装。座席はそれぞれパーティ ーションで区切られていてボックス席、まるで高級クラブ のような格式です。この店は昭和42年に開店しました。 マスターの吉野さんは母親とともに、父親が経営してい たパチンコ店を改装して始めたとのことで、店名は母親 の憧れの地名からつけられたそうです。

開店当時からメニューはほぼ変わっておらず、ナポリ タン、玉子サンド、チョコレートパフェ、レモンスカッ シュ、プリンアラモードが今でも人気で、私が好きなのは 玉子焼きがサンドしてある玉子トーストです。あの懐 かしいインベーダーゲームも現役です。

最近はそのレトロ感が受けて、雑誌やテレビで取り上 げられています。外国人観光客も獲得する、地方都市が できそうなことのヒントかもしれません。わか町にも、 そんな昭和商店街は如何でしょうか。

◆本日の出席：47名中31名

◆今年度の累計出席率：84.26%

◆本日のゲスト：

NPO 法人えんがわ 代表理事 長野源世様

◆ビジター：三条 RC 若槻八十彦会長、五十嵐博 宣社会奉仕委員長



◆先週のメイクアップ：▶12/4 ウィンターフェスティバルへ 吉沢栄一君 ▶12/7 三条 RC 社会奉仕事業・認知症三条市民フォーラムへ 吉沢栄一君 布施純也君

## ◆幹事報告 長谷川直哉幹事

●一般財団法人比国育英会/バギオ基金より 「事業報告書の送付と御寄付のお願い」

クラブ並びに個人の後援・寄付の依頼。受付で閲覧してください

○次週例会変更について 会場・時間が変更になります

※ご欠席の方は事務局で記帳をお願いします。

※キャンセルは前週末までに事務局へお知らせください

○次週次々週は近隣他クラブにも例会変更が多くなっています。また、記帳を受け付けております。

○本日、後期会費の請求書を配布いたしました。1 月末を目途に遅滞なくお納めいただきますようお願いいたします。

## ニコニコボックス

12/9 7,000円 累計252,000円

三条 RC 若槻会長「土曜日に開催いたしました認知症フォーラムでは大変お世話になりました。本日は御礼のご挨拶に伺いました」

三条 RC 五十嵐君「7 日の認知症三条市民フォーラムのお手伝いありがとうございました。感謝申し上げます」

荒澤会長「えんがわ代表 長野様、三条 RC 若槻様、五十嵐様ようこそ。インフルエンザが流行ってきてます。皆様お気を付けて」

長谷川幹事「早いもので、本日で年内の通常例会は最後です。皆様には今年も大変お世話になり、ありがとうございました」

西湯君「宴席が多くなる時期ですので、お互い自愛いたしましょう」

銅冶君、渡邊 (株) 君

「BOX に協力します」

「BOX にご協力ありがとうございました」

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー (米国)

第2560地区ガバナー 大谷 光夫 (高田)

第4分区分ガバナー補佐 三本 進一 (見附)

会長

幹事

SAA

事務局

〒955-8666 三条市旭町 2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL.0256-35-3477 FAX.0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

Rotary



ロータリーは 世界をつなぐ





特定非営利活動法人えんがわ  
代表理事 長野 源世 様

「地域への人材活用としての  
地域おこし協力隊について」

「地域おこし協力隊」とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、隊員が一定期間(おおむね1年以上3年以下)地域に居住し、地域おこしの支援などの「地域協力活動」を行いながら、地域への定着等を図る取組です。

【三条市の地域おこし協力隊について】

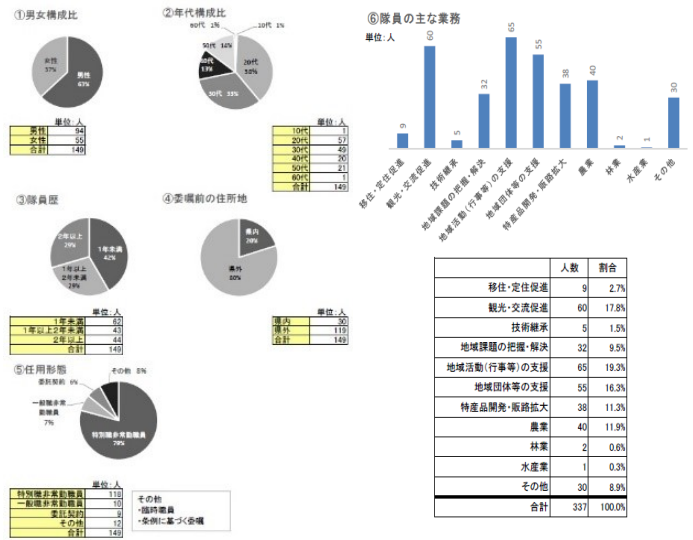
三条市では、下田地域とまちなかのエリアに協力隊が着任しており、人口減少と高齢化が進み地縁によるつながりが希薄になりつつある三条市の中心市街地(まちなか)においては、地域課題を解決するための活動を行いながら、自らが三条市に移住・定住するための生業につながる活動をしています。

【中心市街地の地域おこし協力隊について】

目指すまちなかの姿は、市内外から人が集まり、集まるだけでなく、人が歩いて回遊し、様々な形で交流=多彩な交流を生み出すことにより、至るところで人のにぎわいの連鎖反応が起り、個人や様々なコミュニティ、地域経済に活力が生まれている状態です。まちなかに人が出掛けて過ごしたくなる空間の創出に向けて、ヒト・コト・マチをつなげる役割を担っていただいています。

【NPOえんがわの地域おこし協力隊について】

~そもそも生業が先か? つながりが先か?~  
現在、2名の隊員が3年勤めあげ卒業。  
男性~(株)ものづくり学校とNPOえんがわで契約社員として成り立っている  
女性~フリーランスのディレクターとして県内外のイベントや企画で活動している。  
3年目 須藤隊員(女性) \*お米プロジェクトについて  
2年目 久保田隊員(男性) ハンドパン普及について  
時田隊員(男性) \*ハンドパン製作について  
1年目 小林隊員(男性) \*オウンドメディア構成について  
広報やパンフレット、インターネットのウェブサイト、ブログなど、自らが所有しないことを発信する媒体  
吉村隊員(女性) \*地域コミュニティの形成補助について  
上石隊員(女性) \*空間プロデュース事業について  
【これらの活動をつなぐ事業化について】  
\*クリの木事業について



**新潟県 三条市**  
http://www.city.sanyo.niigata.jp/

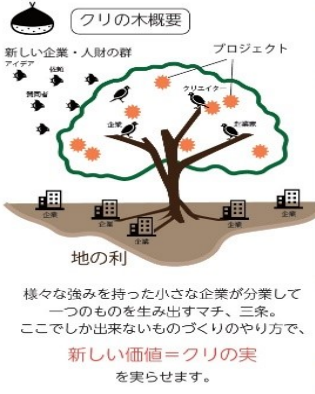
まちなかエリア

人が集まり 過ごしたくなる まちづくり

ヒトコトマチをつないで 地域課題を解決

**地域おこし協力隊 募集中**

【求める人物像】  
・人と接することが好き  
・地域住民や関係団体と積極的にコミュニケーションが取れる  
・グラフィックデザイン、PR・情報発信能力に優れている  
・柔軟な発想力、行動力がある  
・自分で考え、自分で動き、結果を出す



- 【土地】 三条のまち×全国の企業やクリエイター、起業家など→土地を軸かにします ※わたしたちは市内内外のさまざまな企業・クリエイター起業希望者・団体・施設などの関係を強化し、ニーズの起りこしや関係企業を繋ぎたいです
- 【特】 NPO法人えんがわ×三條ものづくり学校×地域おこし協力隊→特太くします ※強みを生地に大きく根を張り、ニュースやアイデア、依頼やノウハウなどを取り上げて協力隊がディレクターとなりディレクションすることにより多くの事業に着手できるようにします
- 【特】 事業分野→枝の数を増やします ※地元の利により特が太くなることで枝も増え、事業数が増えます ※顧客となる企業が増え、またディレクター候補となる人材を増やし新しい分野へ挑戦していきます
- 【特】 プロモーション→葉を落とさず ※プロジェクトの発信/広報を行い、市内外外さらには世界への認知度を高めてより幅広いエリアにある個人や企業や団体等、個人との協業や提携を得られるようにします
- 【特】 新たな体質やアイデアを持つ人や企業/特産プロジェクト特向→枝を増やし葉を落とさず太くする木には多くの鳥がやってきます ※活動を通して認知度を高めることでより多くの、そしてより広い輪郭から依頼やアイデア、プロジェクト共同者などが来るようになります
- 【クリの実】 プロジェクト案件/成果物→上記の活動を通じて様々な実が実ります ※成果物を販売していくことで収益が発生していきます

**●ハンドパン製作 <プロジェクト概要>** 2018.07.10

**NPO法人えんがわ×ハンドパン**

私たちは「ものづくりのまち三条」の強みを生かし、地域資源であるヒト・コト・モノをつなげ、この地域に必要な「コト」、新たな「モノ」を生み出す活動を行っています。

今回「ものづくりのまち三条」でこの会場の境であるハンドパンを作れない方がない! ます、作ってみよう! という思いから、新しい産物であり市場の成長余地があるこの楽器に着目し、地元産業や三条らしさを活かせる「ハンドパン製作プロジェクト」を行います。

さらに、産器を地元で作ることにより安価で安定的に生産できる体制をつくり、三条市の小学校や幼稚園・保育園などの音楽教育や情操教育に使用されることも目指していきます。

**ハンドパン・構造と特徴**

鉄を主成分とする金属製の体積楽器。2011年にスイスで発明された。ガムランを想わせる心地よい音色と打楽器としての魅力を併せ持つ。スティールパンの派生型として誕生し指で弾いて演奏するのが特徴。世界的な需要が旺盛で音の高いハンドパンが求められている。

サイズ 直径45~60cm、高さ20~40cm程度のサイズが多い。

素材 炭素鋼、ステンレスなどの鉄化合物が用いられている。

**楽器製造**

新しい楽器とあるハンドパンは大手楽器メーカーが製造を手掛けておらず、恒常的に供給不足である。三条市を中心とした企業と連携し、楽器製造を行う。

**普及活動**

三条市内外で普及活動を行う。ハンドパン自体の知名度向上、教育や福祉の現場などでの演奏も行い、今後の文化教育的な面での楽器普及に向けて活動を行う。